

結

ゆい

喜久山アコさんを偲んで

2018年3月3日、喜久山アコさんは享年46歳の若さで亡くなりました。

彼女を知る人は、「正義感が強くまっすぐに行動する人」と言います。私は、彼女が沖縄で育ち沖縄に対する差別の怒りが、彼女を「差別を許さず、弱者の立場に立つ」行動につながっていたと思っています。

生きていれば、色々な運動に大きな成果を上げていたと思います。しかし、それを悔やんでも仕方ありません。彼女は道半ばで逝ってしまいましたが、彼女の思いと意思を私たちは引き継いでいきたいと思っています。

植木 日出男



2018年5月9日 発行：ユニオンと連帯する市民の会 「結」編集委員会

第13号

8時間働けば暮らせる社会を!

全国キャラバン出発集会

主催：労働法制改悪を阻止するための全国行動実行委員会



（「働き方改革法案」を廃案に！全国キャラバン出発集会）

愛知の全国キャラバン宣伝予定日：5月17日（木）

日時・場所：15:00～ 栄
16:30～ 名古屋駅 東口

- 総会報告 植木日出男... 2～4
- ジェンダー・クォータとパリティ・デモクラシー..... たかだ洋子... 4～5
- レーバーノーツ2018大会に参加して..... 櫻井善行... 6
- 『君たちはどう生きるか』と吉野源三郎が問うもの..... 小野政美... 7
- 哲学者三木清が失業救援で来名..... 木村直樹... 8～9
- 冬を生き延びる闘い！..... 小野政美... 10～11
- 母よ ありがたう..... 池田美恵子... 12
- 聴涛弘「ロシア革命100年」講演と私の1950年代 近森泰彦... 13
- 朝鮮通信使の足跡をたどる..... 近森泰彦... 14
- 直雇用裁判..... 上條隆、藤井将俊... 14～15
- 木造船漂着について船員として思うこと..... 柿山 朗... 15～16
- 編集後記..... 16

☆ 総会報告 ☆

「ユニオンと連帯する市民の会」第11回総会

日時：2018年3月17日(土)18時30分～20時00分

ところ 労働会館 本館 第4会議室

(故喜久山アコさんを追悼して黙禱を捧げました)

1. 近森代表の活動報告

喜久山アコさんは、ユニオン学校等に協力していただき、一緒に活動する仲間として大変残念でした。

ユニオンと連帯する市民の会は、11回目の総会を迎えて、次の10年も力を合わせて頑張っていく組織になったと考えています。

会員は現在145名で愛知県居住者は105名、女性20名です。OBが圧倒的多数を占めており、若い人や女性と手を組んで色々なお手伝いが出来れば良いと思っています。



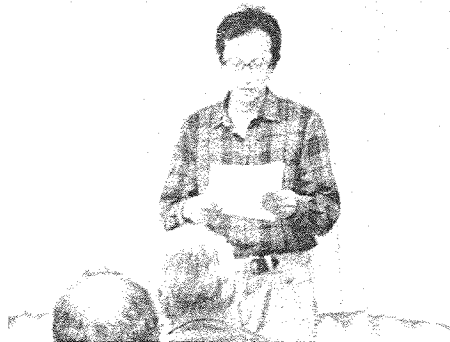
(1) ユニオン学校 (松本)

直近では、3月に入ってフィールドワークとして「朝鮮通信使」のゆかりの地をまわるとして、大須に行きました。昨年の「ユニオン学校」としては、共催の「レイバーノーツ講演会」を含んで11回開催しました。

中盤では「共謀罪」の問題もあり、治安維持法の学習を実感をもって行いました。参加者は20～25名で、一定の参加が見込まれます。今後も労働運動と市民のつながりの場として発展させていきます。

また、「ユニオン学校要則(案)」を出していますが、

運営委員会で確認して進めていきます。



(2) ユニオン共同行動 (松本)

今年、JR名古屋での宣伝行動については開催できない状況があり、一旦中止していましたが、今後健康センターの宣伝行動と一緒に金山にて再開します。体制を整えて行いたいと考えています。

(3) 機関紙「結」(松本)

前総会后3か月毎に4回(9, 10, 11, 12号)発行しました。今年は、(松本)が担当します。これまでも地域の闘いを掘り起こして発信してきましたが、他では見られない先輩たちの運動の歴史や成果から学びながら現在の運動に生かせる情報や国際的な情報も含んだものにしていきますので、みなさんの協力をお願いします。

(4) ユニ懇 (近森)

市民の会の「ユニ懇」では、色々な方が集まって頂き、共同するテーマで柔軟性のある取り組みが作れるようにやっていきたいと考えています。

昨年は1回しか行われませんでした。今年はずっと実施するようにします。

(5) その他の取り組み (近森)

昨年11月に全港湾労働組合ホールでアメリカの「レーバー・ノーツ」創立者のジェーン・スローターさんを招いてアメリカの自覚的な労働者・労働組合が切り開いている創意ある運動を学びました。

その運動を集約した「職場をかえる秘密のレシピ47」という本が出版されました。ぜひお買い求め願います。この本をみますと、労働運動を作り上げるのは、心ある1人1人の労働者であると思います。

また、同じ時期に現代労働負担研究会名古屋集会を同じ会場で行いました。これは、『地域力をつける労働運動、アメリカでの再興戦略』の編集者、仲野組子さんの講演で労働組合の基本的な活動を職場と同時に地域においたシリコンバレーから始まった革新的な運動の広がりを学びました。

市民と野党の共同は、市民の会も加わった愛知における自公の落選運動からです。その運動の流れの中で野党共闘を実現させるなど、愛知の運動を広げてきました。

大阪産業労働資料館（エル・ライブラリー）見学をしてきました。大阪の民間活動の事例は大いに参考になりました。

2. 会計報告並びに会計監査（牧野、小林）

報告通り承認されました。

3. 活動方針（近森）

(1) ユニオン学校は毎月開催できるようになりました。今年も続けていきます。今年11月までの予定が出されており、推進するようにします。3月は、「働き方改革」についての学習します。

(2) ユニオン宣伝については、（松本）さんが報告していましたように、健康センターと「働き方改革」を打ち破る闘いを一緒になって進めていきます。

(3) 会の機関紙『結』の充実を図ります。編集会議をもちテーマ、筆者を決め、定期発行（季刊）を続けます。

(4) 連帯・共同
市民と野党の共同、市民と労働組合（ユニオン）の共同、NPO健康センターと共同など継続して取り組みます。共同にあたっては、お互いの理解を深める方向で進めていきます。

(5) 入会の呼びかけ
地域の運動体として、現役労働者、青年（学生）、OBの方々に呼びかけ幅広い組織づくりに努めますので、協力をお願いします。

・ ・ 意 見 ・ ・

12月1日に大阪のエル・ライブラリーの見学に行ってきました。労働運動関係の資料を収集して管理する施設です。大阪の「維新の会」から府の予算をなくされて、自前で運営している官庁との懇談を行ってきました。厳しい状況の中、資料の保存の努力など、感動して帰ってきました。

愛知でもどのように資料を残すのかを考える時期になっている。大阪の活動を学びたいと考えています。

4. 会則（植木）

特に変更はありませんでした。

5. 役員提案（植木）

提案通り承認されました。

（下記の通り）

6. まとめの挨拶（猿田）

総会の前に「労働問題研究会」を行って、看護師さんの労働実態を聞きましたが、非常にひどい状況にある。若い人が大変です。何とかしなくてはならないと熱烈に考えています。やはり、安倍首相に辞めてもらわなければならない。

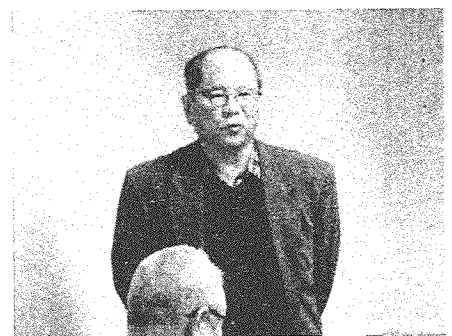
資料についても、大事な資料がどんどんなくなってきて、耐え難い状況になっています。トヨタ関係の資料も一応そろえています。地域できちんと保管して活用する施設がありません。スウェーデンでは、資料については充実した施設があります。日本でもそのような施設が必要になっています。



【役員退任の挨拶（阪野）】

10年前に、トヨタに新しい組合ができると聞いて応援しなくてはならないと思い参加しました。労働会館には、それから通うようになりました。

もう一つは、「結」と一緒に発行している「Action Report」の編集をしていましたが、海外からの情報ルートを持っていないもので、東京からの情報で冊子を作ってきましたが、納得のいく活動ができず休刊としました。



長い間ありがとうございました。

【新役員】

- * 相談役 猿田正機(中京大学名誉教授)
中谷雄二(弁護士)
古木民夫(東海ジャーナリスト編集長)
- * 代表 近森泰彦(NPO愛知健康センター)
- * 副代表 杉山直(三重短大准教授)
柿山朗(海員組合OB、海技大学講師)
- * 運営委員会 事務局長・植木日出男(愛知争議団事務局長)
同 次長・松本 朗(ユニオン学校事務局長)
牧野三枝子(元全国金融産業労働組合中央執行委員長)、
桜井善行(元愛知労働問題研究所事務局長)、江口満則(東海民衆センター)、
鈴木明男(NPO愛知健康センター事務局長)、竹久憲一郎(シティユニオン委員
長)、杉本恒(全港湾労働組合名古屋支部委員長)、小野政美(愛知県元教員)
- * 運営協力員 木村直樹(メディア夜塾幹事)
- * 会計 牧野三枝子(元、全国金融産業労働組合中央執行委員長)
- * 会計監査 小林収(司法書士)

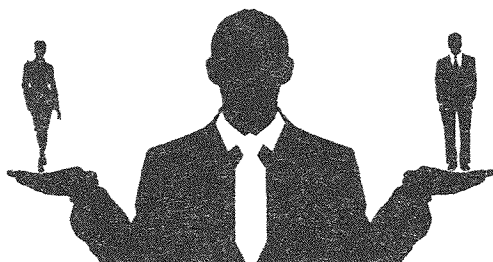
ジェンダー・クォータとパリティ・デモクラシー

たかだ 洋子

4月11日に全国の新聞各紙に流れたニュース・・・
「安倍内閣の嘘がまた一つ」ではなくて・・・それは、
次のニュースでした。

「国政選挙などで候補者の男女比率を均等にす
るよう政党に努力義務を課す『政治分野における男
女共同参画推進法案』は11日、衆院内閣委員会で
採決され、全会一致で可決された。12日に衆院を
通過し、今国会で成立する見通しとなった・・・」

実はこの法案は、去年も提出されていましたが、
やっと一歩前進したといえます。「政党に努力義務」
ですから、これから議論です。



実は、世界中の国会の女性議員比率を3割以上に
したいという目標は、もう50年前から国連で議論
されてきました。自然に任せていても女性議員比率

は向上しない。だから世界で、ジェンダー・クオー
タ(男女同数の候補者を割り当てる)の努力が繰り返
り広げられています。

どうして「候補者の男女比率を均等にす
る」必要があるのか。

2018年3月現在、イギリスでは208名の女性議
員団を擁し比率は32%です。フランスでは225名
39%です。世界の平均は23%に到達しています。
比較して日本は47名、10.1%、世界193か国の159
位です。この地位は、アジアの中でも大変低いもの
で、アジアの大半の国々に、日本は追い越されてい
ます。

ところで、先入観として、イギリスやフランスな
どは女性解放の歴史があるから多くて当然でしょ
う・・・と思いがちですが、実は、世界の平均が23%
に到達した背景の一つは、これら欧州の国々で、ジ
ェンダー・クォータが断固として行われた結果なの
だということがあります。

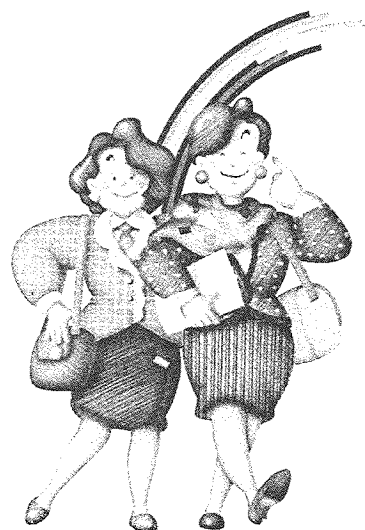
表) を見てください。①の北欧諸国は、1997年
にすでに3割を達成しているのですが、これらの
国々の選挙制度は比例代表制です。これに対して小
選挙区制度をとっているイギリスやフランスでは、
女性議員割合は日本同様に低かったのです。そして
現在でも、彼らは小選挙区制度のままです。選挙制
度を変えずに、どうしてこのような劇的な増加を果
たすことができたのか。法律を作って断固クオータ
を行ったのがフランスです。2000年6月6日に「パ
リテ法」という法律ができました。「パリテ」とい
うフランス語が「男女同数」を意味する言葉になっ
たのです。イギリスでは、労働党が党是として女性
候補擁立を始めました。当選確率の低い選挙区に女
性を割り当てたのでは候補者数が同数でも、当選す
るのは男性ばかりになります。労働党は当選確率の
高い選挙区（現職の引退する選挙区と、激戦区）の

半数に女性候補者を立てる方法を探りました。どち
らの国でも、フランスは法律で、イギリスは労働党
が強い意志をもって、女性候補者を立てる強力なク
オータを推し進めました。これに影響されて周辺の
諸国（③の国）では、90年代にはジェンダー・ク
オータは憲法違反である（形式的平等に反する）と
いう判決が出ていましたが、2000年代には判例が
改められ、ジェンダー・クオータを実践しました。
その結果が、この表のような数字に表れています。

フランス語の「パリテ」は英語にすれば「パリテ
ィ・デモクラシー」と表現されます。女性も、立法
された法律にただ従うだけではなく、立法の議論に
参加し表決する権利も義務もある。男女が半々で構
成される国会が理想とされる、そのようなデモクラ
シーです。

表) 国民議会議員女性比率の比較 (1997年と2017年の20年の変化)

国名	1997年女性比率	2017年女性比率
① 1997年にはすでに3割を達成していた北欧諸国		
スウェーデン	40.4	43.6
ノルウェイ	39.4	41.4
フィンランド	33.5	42.0
デンマーク	33.0	37.4
オランダ	31.3	36.0
② 選挙区制のために97年にはまだ一割を達成するの も困難であった国		
イギリス	9.5	32.0
フランス	6.4	39.0
日本	4.6	9.3
③ 1997年にはまだ3割を達成していない欧州諸国		
スペイン	24.7	39.1
スイス	21.0	32.5
ベルギー	12.7	38.0
イタリア	11.1	31.0



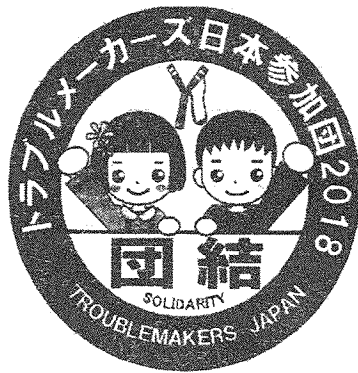
IPU「1997年1月1日」および「2017年10月1日」世界女性議員比率ランキング表から一部を抜粋

異なる意見は排除ではなくリスペクトこそ必要である。

レーバーノーツ2018大会に参加して

櫻井 善行

この4月に行われた、レーバーネット2018に参加する事が出来た。私にとって、アメリカ・シカゴは初めての地である。行くまで、アメリカではビザ代わりに ESTA というものがあるのが分からなかったぐらい無知であった。だがレーバーノーツの存在は1990年代より知っており、憧憬は抱いていた。しかしこの年になって行くことが出来るとは思わなかった。旅行日程の機内2泊、現地6泊は高齢者にとってはきついものがあったが、それを差し引いても十分に刺激も見返りもあるツアーであった。



レーバーノーツは、1979年に創設され、月刊雑誌『レイバー・ノーツ』を発行する労働者教育団体だが、各産別労組、ローカル労組を下から変革していく全国の活動家の結集の役割を果たしてきた。2年に1回レイバー・ノーツ大会が開かれるが、この4月6日から8日にかけてシカゴで開催され、2000人を超える活動家が全米から全世界から結集した。

2年前の2016年の大会には、日本から17人が参加し、カナダを除く海外からの参加団としては最大でした。シカゴ教員組合の一日ストライキやファストフード労働者などの最低賃金の引き上げ運動「Fight for \$15」キャンペーンなどに参加してきたという。今年の大会はトランプ政権下で初めての大会であり、草の根の組合活動家と労働者センターの活動家そして職場のトラブルメーカーの一大結集の場となった。今回は日本からの参加者は28名にも及ぶ大所帯となった。

今回の大会は、アメリカ労働運動の高揚と創意を担っている全国の労働運動活動家の問題意識に触れるまたとない機会となりました。とりわけ少なからぬ日本の労働組合では高齢化が進行し、後継者不在のまま「自然淘汰」が待ち受けている。この危機的状況を打開するヒントになるのではという思いで参加した。実際に各ワークショップや全体会では多くの若者や女性に遭遇した。大会の前になどのシカゴの労働運動の歴史や、変革を求める労働運動の最前線を担っている様々な闘いの現状に触れるエクスポージャーに参加した。全米電機労組の事務所を訪れ、移民労働者とともに心温まる昼食をともにし、メーデーの起源となったヘイマーケットの地も訪れた。この地に世界のいくつかの労働団体による記念碑があるが、その1つに全労連のものがあつたのには驚かされた。

正直ワークショップの多さには驚き消化不足であった。しかしそれでも労働者の闘いには国境はないということ再認識した。日本の場合、競争原理と排外主義の虜にされている若者とさらにはまだ「婦人」の呪縛から解放されていない女性を獲得していくこと、そして私の周辺ではまだ戸惑いのあるSNSの積極的活用が私たちのこれからの活路の決定的な鍵となることを再認識できた旅であった。

今回の報告は、その触りすぎない。来春にはレーバーノーツアジア版を初めて開く予定だという。皆さんとともに関わっていききたい。表題は私がつとも共感した言葉であった。最後に私の訪米のためカンパをいただいたが、この場にてお礼を述べたい。感謝！

さくらい よしゆき

本の紹介 「職場を変える秘密のレシピ47」

耳は二つ、口は一つ人の話をよく聴こう！相手の目を見て対話をしよう！
(生身の人間に頼まれたらノーというのは難しい) オーガナイザーは労働者が力を求めようとしない理由を理解する必要がある。など実践活動で経験を積んできた失敗・・ささやかな成功など私たちの経験に重なります。仲間づくりに役立つ書です。市民の会でも扱っています。(定価：本体 1389円+税)



『君たちはどう生きるか』と吉野源三郎が問うもの

小野 政美 (元小学校教員)

『漫画 君たちはどう生きるか』(原作・吉野源三郎、漫画・羽賀翔一)が200万部を超えるブームになっている。3月末の単行本ノンフィクション・教養書販売の1位は『漫画 君たちはどう生きるか』、2位は『君たちはどう生きるか』。2著とマガジンハウス仕掛けの発行だが、原著は約80年前に出版された。



君たちは
どう生きるか

吉野源三郎



国粹主義」のエピソード(「愛校心のない学生は、社会に出ては、愛国心のない国民になる。愛国心のない人間は非国民である。だから、愛校心のない学生は、いわば非国民の卵である。われわれは、こういう非国民の卵に制裁を加えなければならぬ」)を通じて、「ヒューマンイズムの精神」をコペル君の後悔と成長と一体として伝えている。

漫画版でもいいが、出来れば、岩波文庫版(丸山眞男解説)がお薦め。吉野源三郎は、『君たちはどう生きるか』出版の6年前、治安維持法違反で逮捕。吉野は、東京帝大卒業後、1925年26歳で陸軍の近衛野砲兵連隊に1年志願兵入隊。1年後に除隊も予備役のため、1931年31歳で逮捕、軍法会議後、1年半、陸軍刑務所に収監された。親友の哲学者・古在由重を官憲から守ったのも吉野源三郎だった。戦後は、岩波書店で雑誌『世界』を編集し、戦後の平和運動の組織者でもあった。共謀罪の現在と治安維持法の時代が通底するいま、『君たちはどう生きるか』と吉野源三郎に何を学ぶか。『ユニオン学校』などで読書会を開けば、多くの異なる視点を与えられることだろう。そして、「オレたちはどう生きるか」?

原著の背景となる社会の状況は現代と大きく異なるが、決して子ども向けの本ではない。『君たちはどう生きるか』は、中学生の「コペル君」が友達との出会いや学校での出来事を通して、人生を生きるための羅針盤を獲得していく物語で、個人の社会認識の方法と個人の生き方がクロスする。

コペル君の若い叔父さんが、自然科学、経済学、歴史や哲学などの広範な知識を分かり易く説くとともに、コペル君自身の経験や発見を考え続けるように、<常に自分の経験から出発して正直に考えていく>という姿勢が貫かれている。例えば、コペル君が親友を裏切ったという行為は、取りかえしのつかない行為であるが、損得からではなく、道義の心から、『しまった』と考えるほどつらいことは、恐らくほかにはない。過ちに気づき、何日も寝込むほどの後悔によって、人間として肝心なことを、心にしみとおるように知れば、その経験は決して無駄にはならないと考える。吉野はまた、柔道部の上級生に殴られるという「偏狭な

働き方や地域の暮らしを学び合う

第53回ユニオン学校



開催～

ユニオン学校は誰でも自由に参加できます。

読書会

『君たちはどう生きるか』

進行・解説

(著者: 吉野源三郎)

小野政美さん(愛知県元小学校教員)

日時: 2018年5月29日(火) 18時30分～

場所: 市民活動推進センター集會室
(ナディアパーク・デザインセンタービル6階)

愛知縣名古屋市東区栄3丁目13番1号
地下鉄栄1駅(丸) 徒歩7分
地下鉄栄3駅(丸) 徒歩5分
連絡先: 080-3543-9205(松本) / 090-4235-0662(近藤)
メールアドレス: union2013school@yahoo.co.jp

会場カンパ
500円

哲学者三木清が失業救援で来名

木村 直樹

哲学者の三木清は、震災手形による金融恐慌に続いた金解禁と世界恐慌の大波による、250万（昭和5年中）とも言われた失業者の増大を目の当たりにして、その救済運動のため名古屋へ来た。

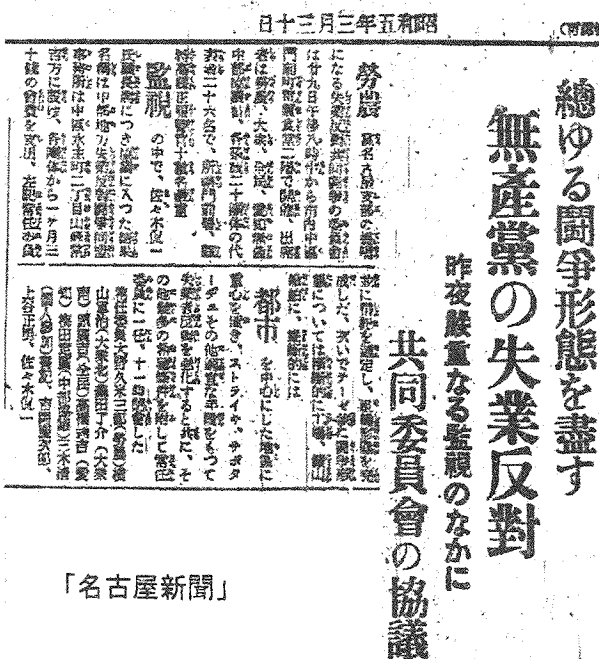
1930（昭和5）年3月29日、三木は個人の資格で、新労農党、日本大衆党、全国民衆党各名古屋支部、愛知無産党、全協中部地方協議会などが共同闘争を協議する名古屋の会合に参加した。労農党は非合法の共産党に最も近い合法政党だったが、昭和3年3月15日に解散させられて、のち新労農党として再組織された。全協（日本労働組合全国協議会）は全評（日本労働組合総同盟評議会）解散後同年10月に結成され、中部地方協議会は翌年1月29日、小沢健一を委員長にして組織され、半非合法組織であった。

警官十数名厳重監視の中で、佐々木侃一氏議長席につき協議に入った結果名称は中部地方失業反対闘争同盟事務所は中区水主町二丁目山崎常吉方に設け、各団体から一か月三十銭の会費を支出、左記常任委員並びに書記を選定し、組織形態を完成した、次いでテーゼ並び闘争形態については横断的に工場、鉱山、船舶に、縦断的には都市を中心にした地区に重心を置き、ストライキ、サボタージュその他適宜な手段をもって失業反対を強化すると共に、その他幾多の希望条件を付して常任委員に一任、十一時閉会した。常任委員大野久米三郎（労農）横山軍治（大衆北）亀田了介（大衆南）原廣吉（全民）高橋達吉（愛知）梅田定廣（中部協議）三木清（個人参加）書記、吉岡慶次郎、上谷正男、佐々木侃一」である。

この頃、三木はプロレタリア科学研究所（1929年設立）にかかわっていたが、個人の資格で、この委員会の常任委員となっている。4月28日には発足したばかりの名古屋自由労働者組合主催の街頭デモがあり、失業保険、最低賃金、屋外労働者傷害扶助法の制定を求めたスローガンで訴えた。それに応じて、愛知県社会課は県下435人の方面委員（民生委員の前身）に必要な社会事業施設について意見を求めた。

三木はこの年5月20日、小川信一（大河内信威）に渡したカンパが共産党への資金提供の疑いで検挙され、7月には起訴、11月半ばまで豊多摩刑務所に拘留された。その後は法政大学教授はじめ一切の教職から干されることになった。同じ日には、中野重治、山田盛太郎、平野義太郎なども「共産党シムパ事件」として検挙されていた。

三木は京都から東京へ移住して、昭和2年法政大学教授のかたわら、岩波書店の企画編集にかかわったが、昭和3年に岩波書店でストライキがあった。それへの対応に悩んだ小林勇は退社して、三木の資金を基に、雑誌「新興科学の旗の下で」を創刊した。そして小川らの「国際文化」と合流、誌名変更して「プロレタリア科学」に、三木もこの活動にかかわ



「名古屋新聞」は市内版に、「総ゆる闘争形態を盡す 無産党の失業反対 昨夜嚴重なる監視のなかに 共同委員会の協議」という見出しの記事が出た。内容は「労農党名古屋支部の提唱になる失業反対共同闘争の委員会は二十九日午後八時半から市内中区門前町電気食堂二階で開催、出席者は労農、大衆、全民、愛知無産、中部協議会、各系統二十団体の代表者二十六名で、所轄門前署、県特高課正服

るようになった。

「プロレタリアートは一面から見れば近代の自然科学的実践の産物である。ブルジョアジーと闘争する階級としてプロレタリアの科学的研究は主として生産関係に向けられる。かくて自然科学が特にブルジョア的な科学であったとすれば、今日の社会科学は特にプロレタリア的な科学であるとも見られることが出来る。蓋し今日不足してゐるのは生産力ではない。生産力は十分に発達し、ありあまるほどの富が作られつつあるに拘らず、貧困がもはや堪え難きものにまで増大し、拡張しつつあるといふことが今日の最も緊急な問題なのである。この事実によって與へられたる問題を解決すべき社会科学が特に今日の科学である。従来の唯物論が社会や歴史に関してはなほ観念論のうちにとどまっていたのに反して、マルクス主義は特にそれらのものの中へ唯物弁証法を持ち込むことを企てるところの科学である」（「近代科学と唯物弁証法」「プロレタリア科学」昭和5年3月5日号）とした。

全協は活発に失業者同盟を組織し、渡部徹『日本労働組合運動史』（青木書店、初版1954年、三版1970年）によると全協は「政府資本家全額負担の失業保険をつくれ、七時間労働制を実施して失業者に仕事を与えろ、失業救済事業を起し最低二円の日給をよこせ、失業者に住宅ガス水道を無料で提供しろ、失業者を肉弾にする帝国主義戦争反対」（「第二無産者新聞」19号、昭和5年4月16日、同24号5月31日）のスローガンを掲げた。

三木は、「社会の変革のためのプロレタリア運動のうち宗教は全人類の将来を見なければならぬ。プロレタリアートを解放することなくして宗教は自己を解放し得ない。そして自己を物質化することなくして宗教はプロレタリアートを解放し得ない。文藝と宗教とはプロレタリア運動に於て結合すべきである」（「文藝と宗教とプロレタリア運動」「中外日報」昭和5年1月1日）と考えていた上に、「特権階級意識の批判」（「思想春秋」大思想エンサイクロペディア第一期思想全集月報、昭和5年4月）と題して、「インテリゲンチヤは今や次第にプロレタリア化しつつある。彼等の生活の窮乏と低下とは目の前に行はれつつある事実である。彼等のこの様な危

機はまさしく資本主義の行詰りに相応してゐる。それにも拘らず、知識階級の大部分は今もなお資本主義に対してプロレタリア的な認識をもつことが出来ない。これは何によるのだろうか」と問いかけた。ところが、三木が多摩刑務所に拘留されているその頃、「プロレタリア科学」（昭和5年8月号）には「プロレタリア科学研究所書記局」が、「哲学に対する我々の態度 三木哲学に対するテーゼ」と題して「社会民主主義的歪曲」を批判し、加藤正の「三木哲学に対する覚書」（同号）も硬直した断定に終わり、さらに永田広志は「プロレタリア科学研究」（昭和7年12月号）に「弁証法の存在論的歪曲」と題して三木がファシスト哲学者と同列と言わんばかり低劣な批判をした。それらは服部の総の「三木氏における観念論の粉飾形態」（「思想」昭和5年5月号）が呼び水になったかもしれないが、服部の対話的批判とは異質であった。

三木はその後も苦心を重ねて言論活動をつづけ昭和8年の滝川事件に応じて、学芸自由同盟結成し、「あらゆる従来の社会の歴史は階級闘争の歴史である」という『共産党宣言』の引用にはじまる読み応えのある「現代階級闘争の文学」（岩波講座『日本文学』昭和8年、発禁）などを発表した。

三木は近衛政権へ昭和研究会を通して繋がり、その政権の復活を恐れた東條政権によって、1945年3月28日、拘留所からの逃亡者高倉テルを泊め金銭と衣服を与えたことで、「治安維持法」の「国体ヲ変革」や「私有財産ヲ否認」を「目的トシテ結社ヲ組織シタル者」ではなく、「結社ノ目的遂行ノ為ニスル行為ヲ為シタル者」として三木は検挙され、終戦後の9月26日獄死した。

服部は「三木清と『親鸞』（『親鸞ノート』）で「三木清とは太平洋戦争の始まる年の夏、銀座裏のあるバーで飲み別れたのが最後となった。数年ぶりに、思いもかけずそこで出逢ったのである。話題はしばらくお互いの身辺に関し、彼に残された長女の名が私の長女と同じ洋子というのであることを知ったのも、その時であった。・・・敗戦後発表された彼の遺稿のなかから、私は「親鸞」とこの「幼き者のために」を読み、いずれも胸奥に泌みた。」と追想した。

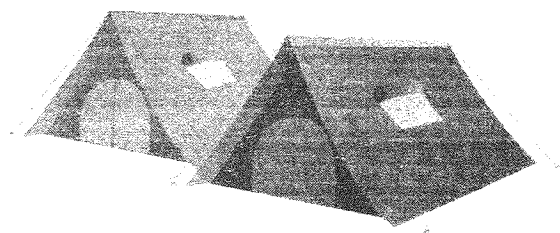
冬を生き延びる闘い！

2017/18 越冬活動から見えるもの～〈市民社会〉の縮図としての〈野宿者〉問題

小野政美（元小学校教員）

野宿者の現在、越冬の現場では「ひとりの死者も出さない」をスローガンに43年目の〈野宿・日雇い労働者が冬を生き延びるための名古屋越冬闘争〉が12/28～1/3まで行われた。野宿者の冬は厳しい。寒いだけでなく仕事も住居も路上には暖房もなく、厳しい冬を生き延びるには厳しすぎる日々。越冬団結小屋のある津橋小園内の越冬現場では、30人～40人の野宿者が集まり焚火を囲む。この場所での越冬は2年前から。約40年間は名古屋駅近くの柳橋中央市場隣の通称「オケラ公園」・西柳公園で行われてきたが、名古屋市が変更させた。20年前、1998年の越冬では、オケラ公園には200人以上が集まり、炊き出しには1000人ほどが並んだ。今年もカンパと支援物資（米、野菜、カイロ、衣類など）が届いた。越冬闘争は16団体でつくる実行委員会が主催する。今年の名古屋市の年末年始の無料宿泊所・船見寮の入所者は約60人だった（かつては500人を超えた）。越冬では、12月28日夜から1月4日朝まで、炊き出し、医師も参加した生活・健康相談、法律相談、散髪（今回0名以上）、夜回り（お茶・カイロ・薬・毛布を持ち野宿者訪問）、名古屋市船見寮訪問交流（モチ・衣類等持参。今年50人余入所）等に取り組んだ。12月28日夜の越冬活動突入集会には50人を超える野宿者と愛労連・ユニオン関係労組、愛知健康センター（カンパも）、衆院議員も激励に訪れ連帯挨拶を行った。越冬炊き出しは、28日から3日まで平均79人だった。越冬テント近くでは、日雇労働者や野宿生活者が自分たちで火を燃やし、お湯を沸かし、お茶を入れ、市民から寄せられた食料・野菜・衣類の整頓管理を行い、翌朝の共同炊事の準備等を行った。医療生活相談や法律相談、散髪、街頭宣伝カンパ活動、正月餅つき、ノリパンの韓国音楽舞踊や若者の演奏なども行われた。野宿で困ってない？体調は？炊き出しに行ってる？生活保護の申請は？襲撃はない？50代・60代の男性が多く女性は少ない。野宿生活5年の60代の男性は、いつもは名古屋駅の近くで野

宿。70歳の男性は、会社が倒産し家を出て野宿している。以前生活保護を受けていた男性は、税金から生活保護費が出て迷惑がかかるからと空き缶を拾いながらの野宿生活。仕事で指2本を切断して野宿半年の50代の元木工職人。初めてきたという若い男性は、年末年始は仕事がないので人に聞いてやってきた。初めてきたという40代女性は老親介護で問題が起き何も持たずに家を出てきた。さまざまな理由で野宿を強いられる人々。越冬現場に来ると安心するという野宿の仲間たち。炊き出しがあり、衣類も貰え、襲撃される心配もない。何よりも同じ野宿生活の仲間がいる。厳しい偏見と差別で視られる野宿生活だが、ここだけでは安心して笑ってられると言う。



越冬現場には、毎年、年末年始ながら、寒い中、炊き出しや越冬を支援する人々、ボランティアの人々がいる。越冬の現場では、さまざまな出会いがある。今回も、金城学院高校など複数の高校生・大学生ボランティアや名古屋NGOセンターなど市民と野宿者との交流があった。「ホームレスという怖い感じがしていたけれど、ここで会ったおじさんたちたちはみんな優しい人だった」、「自分がどう生きるか、学校以外で自分ができることを考えるきっかけになった」など、実際に野宿者に出会うことで学びとは何かを考えた人々・子どもたちがいた。ただ、年々、市民の支援者が激減し、支援団体の活動も高齢化が進んでおり、支援活動も縮小化が進行し今後の課題である。

〈市民社会〉の縮図としての〈野宿者〉問題

野宿者をめぐる状況は大きく変化し、見える形の野宿者が減少した。野宿者はピークの国の調査で

2003年に2万5296人、2016年には6235人へ減少した。65歳以上が約4割、70歳以上も13%。10以上野宿状態が3割超。名古屋越冬実行委員会は、毎年12月に、名古屋市・愛知県・愛知労働局との行政交渉を行っている。野宿者が2000人以上（2005年愛知県調査2121人）いた名古屋市調査で182人（公園75人・河川44人・道路16人・その他47人；昨年度計211人）と減少した（実際の野宿者はもっと多い！）。緊急宿泊施設には昨年度、延べ455人・実人数592人、名古屋市厚生施設の植田寮44人・笹島寮77人、自立支援施設利用者は158人。無料定額宿泊所857人（3年以上130人・5年以上147人）。野宿者の高齢化も進む。東京都初の実態調査結果が公表された。「ネットカフェ難民」が東京都内で1日当たり約4000人。7割超の約3000人が派遣労働者など不安定な働き方。「住居が無く、寝泊まり」が25.8%。平日は15300人、住居の無い人は約4000人。住居の無い泊まり客を年代別にみると、30代（38.5%）と50代（27.9%）。

野宿者を生活保護で救うという名目で生活保護費で儲ける「貧困ビジネス」も増えている。名古屋市内の無料宿泊所の入所者によれば、ケアの質は、契約内容・利用料・職員配置・狭い部屋・弁当の多い食事・金銭管理・安全・消化設備などあまりにも

低く、行政は調査・改善の姿勢が弱い。1月31日には、札幌市の生活困窮者らの自立支援住宅「そしあるハイム」が全焼し入居者計11人が死亡。困窮者や高齢者の施設で多数が犠牲になる火災は何度も起きている。2002年の「ホームレス特別措置法」以来、全国的に公園からの強制排除が行われ、名古屋でも多くの公園での強制排除が行われた。公園などでのテント・小屋掛けが出来なくされ、野宿者に対する襲撃や排撃が強まった。野宿者への差別、襲撃事件問題では襲撃事件になっていないが襲撃があるが、名古屋市は把握していない。

不安定雇用から失業・貧困、そして野宿へ。最低賃金以下での労働搾取、野宿者襲撃、貧困ビジネス、貧困の個人化と不可視化、行政支援の不在など「野宿問題」は労働、差別、貧困、医療、福祉の矛盾が集中する日本の「縮図」である。野宿者問題は、この社会のあり方、私・たち自身の問題である。中高年失業者・若年失業者はともに増大、労働環境は悪化し、過労死・過労自殺は増加の一途を辿っている。野宿者問題は、高齢者・要介護者数が激増する日本社会の「縮図」であり、＜市民社会＞と＜野宿・路上生活者＞との距離は縮まり、いのちと健康が脅かされる日本の貧困・高齢者問題の状況の先取りなのではないだろうか。

第89回愛知県中央メーデー

5月1日、名古屋市白川公園にて第89回愛知県中央メーデーが2800名の参加で行われました。当日は、天気もよく「ユニオンと連帯する市民の会」も参加者に対して「ユニオン学校」の案内を配布した後、多くの仲間と共に集会に参加し、「ユニオン市民の会」のノボリをかかげてデモ行進を行いました。



母よ ありがとう

歌人 池田 美恵子

母が亡くなって八月で一年になります。その前日には私は母と一緒にコーヒーをのみながら、亡父の思い出などを語り合っていました。九十歳でした。亡父は国鉄に勤務し、国労の組合活動も頑張っていて、いつも「国鉄労働組合」と書いた赤い腕章していたことが、とても印象に残っています。時には、「ストライキ決行中」と書いた腕章をして勤務の駅と家を往復していたこともあります。家では、大工仕事に興味で本箱や椅子などを作ってくれました。お酒の大好きなとても優しい父の話は尽きることなく、母は父との思い出を嬉しそうに話してくれました。しかし、残念なことに、国鉄を定年退職すると同時に、肺ガンに罹り58歳の若さで亡くなりました。

母は、しつけにとっても厳しく、三人姉妹の長女である私に「お姉さんなのだから、しっかりしなさい」と期待も込めて？よく叱られていました。例えば、「おはよう」「行ってきます」「ただいま」等、挨拶には特に厳しい母でした。



年齢を重ねていくうちに持病であるリウマチが悪化して、手の甲が晴れ痛みを伴うようになったのですが、気の強い母は手の甲を擦ってはいましたが、「痛い」という言葉を漏らしたことは、殆ど無かったように思います。

ある日のこと、普段なら几帳面な性格そのままに、仰向けに身体をまっすぐ伸ばして寝ている母が、横

向きになり胎児のように身体を丸めていました。「お母さん、どこか痛いの？」と声を掛けると、かすかに首を振るのですが、目に力がありません。すぐにお世話になっている訪問看護師さんに来ていただき、診てもらったところ、血圧が異常に高く、大きな声で話しかけても反応がにぶく「早急には血圧を下げなければ、いけないですね」といつも穏やかな看護師さんの口調に緊張感を感じて母も私も不安でいっぱいでした。

高熱が下がらなくて病院にかかったときには、尿路感染症で腎盂腎炎と診断されて入院することになり、主治医からは覚悟をしておいて下さいと告げられたのです。

母が……。死ぬかもしれない……。それまで意識して、考えないようにしていた事が、俄かに現実味をおびて頭に浮かび、私は母の傍に座って布団の中に手を入れ、瘦せた足や手をさすりながら祈りました。

ーもし、母の命の終わりが近いのなら、どうか苦しめないで下さい。リウマチの痛みにも、もう十分に耐えてきました。これ以上は瘦せられないほどに細くなった身体で自分で自分の身体が思うように動かないもどかしさにも、耐えてきました。どうか、これ以上苦しめないで下さい…

母はベッドに臥す日が続き、その日は朝から胸に手を組んで何かを祈るように、滾々と眠り夜になって意識が薄れて私達三人姉妹が見守るなか、静かに眠るように逝きました。

合掌の胸に組む手に永遠の母の温もりわが両の掌に
終の水澄みて残れる吸ひ呑みに朝の光りが小さく揺らぐ
煌々と月光冴えて浄土へとたがはず母のゆけますやうに
死期を知り母の外せる腕時計吾がまくら辺に時を静かに
保育士の仕事に追はるる毎日を助けくれたる母よありがとう



今頃は天国で父と再会して、二人の素敵な時間を過ごしているに違いありません。

聴涛弘「ロシア革命100年」講演と私の1950年代

ロシア革命100年を今日に生かそうと基礎経済研究所とユニオン学校が共催して今年2月に聴涛弘さん（1935年生、元共産党参議院議員、国際政治研究者）をお招きして『ロシア革命100年を回顧・ソ連とは何だったのか?』というテーマで講演していただきました。

「今でも残る十月革命の国際的意義」として聴涛さんがあげられた項目から引用しておきます。

「1、8時間労働制の実施とILOの設立を後押しし、ワイマール憲法（1919年）に生存権、労働権を明記させるなど大きな影響を与えた。資本主義制度の下で福祉国家づくりの展望を示した。

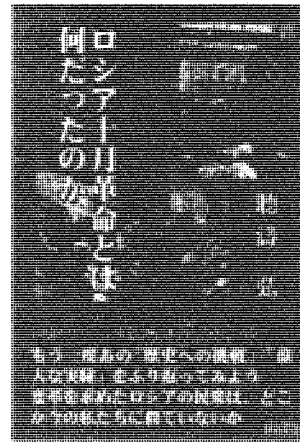
2、革命政府は即、秘密外交を廃止、イギリス、フランス、ロシアが結んだ中東分割の秘密協定を世界に暴露して20世紀の植民地体制崩壊を促した。

3、当時、最悪の大量虐殺兵器であった毒ガス禁止協定（1925年）に道を開いた。今日の国連核兵器禁止条約締結はこれに匹敵する快挙だ！」

私は1950年代後半に運動に加わった。日本は高度経済成長が始まったところで1955（昭和30）年に「もはや戦後ではない」と池田総理大臣が演説した後日本の経済建設が大きく変わり始めていた頃でした。1959年9月、伊勢湾台風によって沿岸部に位置する火力発電所は大きな被害をこうむり、私たち若者は社宅・独身寮などへ食料を届け、ヘドロ掃除に連日汗を流しました。住んでいた独身寮は1階部が水に浸かり、しばらくローソク暮らしが続きました。このときに酒を酌み交わした仲間が生涯の友となりました。

ロシア民謡が愛唱されていて私たちもよく肩を組んで大きな声で歌いました。労働力供給を後押しする農業基本法によって零細農業の集約が促進され若者が都会に流れ込んできました。中電の火力発電所にも九州、四国、長野など遠隔地の農家出身の若者が増えました。安保条約改定に反対する労働者、学生、市民の運動、三池炭鉱労働者のたたかいが連日のように新聞紙上にあふれ、皇太子結婚（1959年4月）を機に爆発的に広がったTVがこの様子を連日報道しました。

内部分裂を克服した共産党は1961年の7月の第8回党大会で新綱領を採択して安保条約反対



の統一戦線を呼びかける新しい道を歩み始めました。中電の職場はレッドパージ（パージする労働者は労務担当と「労働組合」役員がリストをつかった）で共産党員はじめ活動家が一扫された後で「民同右派」の指導者が支配していました。そんなときに私は先輩に誘われ

て活動に加わりました。革命を成し遂げたソ連や社会主義社会建設に励む中国に心を動かされし日本社会の変革を見つめた時代でした。職場は困難ばかりでしたが搾取のない社会に向かう道を学び合った仲間との連帯感がエネルギーになりました。

「哲学」が先行して時代をとらえたのは、マルクスが変革の哲学を持ったからこそ『資本論』を書いたのである。社会変革における「哲学」の持つ意義は大きい。それは資本主義の限界が言われながら「先が見えない」とよく言われる現代にも当てはまることではなからうか。運動の中で「格差」は問題にするけれど「搾取」や日本の未来、「社会主義」について話し合わなくなっているのではないか。

ロシア2月革命は民衆の力によるものだ。けっしてレーニンの押し付けではない。人口200万人の首都ペテルブルグで20万、30万、40万の労働者のデモが連日続き兵士も参加した。8日間でツァーリ専制が崩壊、引き続き10月革命に向かっていきました。

日本の未来社会を描き共有することはとても大事なことで聴涛さんは私たちに問いかけました。韓国では数十万の民衆デモが朴政権を倒し新しい政権を後押しして南北対話の道をひらきつつあります。アメリカ各地でも戦争反対のデモが広がり社会主義者サンダースを民主党の大統領候補にあと一歩と言うところまで押し上げました。日本では7年にわたって中断することなく安倍政権を糾弾する集会・デモ、原発廃止を求める市民運動が続き米国属国の象徴である辺野古基地建設阻止の運動も弾圧を排しひろがっています。 近森 泰彦

- 参 考: 『ロシア10月革命とは何だったのか』（聴涛弘 本の泉社）
『空洞化と属国化、日本経済のグローバル化顛末』（坂本雅子、新日本出版社）
『従属の同盟、日米安保50年を検証する』（赤旗政治部「安保・外交」班 同上）

朝鮮通信使の足跡をたどる 大須の寺院巡り

秀吉は1590年代に2度にわたって朝鮮半島に大軍を送り殺戮のかぎりをつくしました。関ヶ原の戦いで頂点に立った家康は平和外交の基本を維持し260年間にわたり朝鮮と友好関係を築きました。

朝鮮通信使の来日はその象徴です。江戸時代を通じて12回、通信使が我が国を訪れました。京都まで船で遡上し、その後は東海道を徒歩で江戸に向かいました。正使、副使など高官はじめ文人墨客、歌舞団まで含め500人ほどの大集団でした。これに朝鮮との外交に携わった対馬藩藩士など日本側の付き人を合わせると2000人を超す大行列でした。近在からの見物人で沿道は埋め尽くされ名古屋では

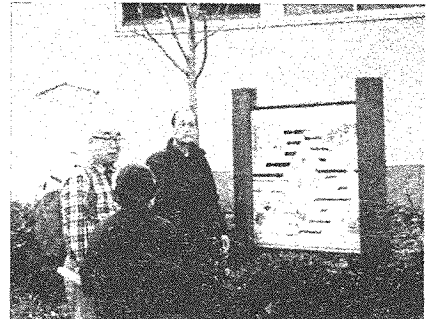
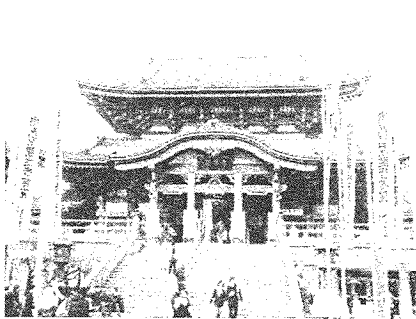
大須界隈で接待を行い宿泊しました。名古屋祭りの原型は通信使にあります。ユニオン学校の番外編として大須の寺院を訪ねました。

鮮通信使復活活動や大須街案内人をされている孫さんにガイドをしてもらいました。3月11日は晴天に恵まれ、15人で12カ所のお寺をめぐることができました。大須のことはなんでも孫さんにお尋ねください。

(☎080-4844-0333)



近森 泰彦



直雇用裁判

昨年11月28日、一般社団法人日本貨物検数協会(以下日検)が自ら設立した会社、日興サービス株式会社(以下日興)の従業員であり、全港湾に加入している日興サービス分会組合員21名の内16名は偽装請負により日興から派遣労働者として受け入れていた日検に対して、労働者派遣法40条の6第1項に基づき、直接雇用を求める訴訟を名古屋地方裁判所に提訴しました。

日興は日検が自ら設立した派遣会社であり、日興の役員も日検からの出向役員で構成されており、事実上の子会社です。実際、



日興設立当初より日検と日興は業務請負契約が締結されていましたが、実態は日検が日々の業務を行う場所、時間などの指示を行い、日興の従業員は日

検の作業服を着用して日検の業務に従事しており労働者派遣であって、いわゆる偽装請負に当たります。日検がこのような偽装請負を行ったのは、派遣法による期間の上限を免れる為に私達を請負社員として雇用していました。しかし先般の派遣法改正で偽装請負によるみなし制度の適用を恐れ、私達日興の労働者に何ら知らせることなく、日検は違法派遣の事実を知っていた上で、派遣先である日検・派遣元である日興とで結託し、請負契約から派遣契約に切り替え、日興サービス従業員に対して2年も前の派遣契約書にサインをするように迫りました。これは労働契約申し込みみなし制度の偽装請負などによる違法派遣が終了したその日から1年以内に諾否の意思表示がなければ、申し込みの効力が失われてしまうのを狙ったものです。このように日検・日興は極めて悪質な企業であり、私達労働者を使い捨てにしようとしています。

そこで私達日興サービス分会組合員16名は昨年11月28日に日検に対して労働者派遣法40条の6第1項5号・偽装請負行為に基づき直接雇用を求める訴

訟を名古屋地方裁判所に提訴しました。一方で日検は私達、日興の労働者を低賃金且つ長時間労働の劣悪な労働条件を強いて来ました。それを解消する為、組合で日検に直接雇用するよう要請してきました。しかし日検は団体交渉にすら応じない不当労働行為を行うなど、違法・脱法行為を重ねてきました。日検がこの違法状態を改め、違法派遣を

是正する為にも私達、日興サービス従業員を直接雇用し、労使協議を行う以外にありません。

改正労働者派遣法の目的である派遣労働者の雇用の安定確保図られる為にも、私達の裁判に御理解、御協力をお願いすると共に6月13日(水)16時より、名古屋地方裁判所1103法廷にて行われる第3回裁判に傍聴支援をお願い致します。

問い合わせ先：全日本港湾労働組合 東海地方 名古屋支部 名古屋市港区入船1-8-26 ☎652-1421

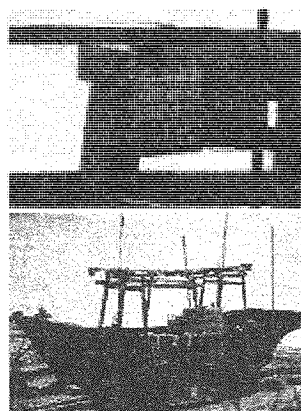
藤井将俊、上條隆

木造船漂着について船員として思うこと

柿山 朗(元外航船長・元海員組合全国委員)

晩秋から冬季にかけての日本海は、台風並みに発達する低気圧が通過する。冬場の日本海は大型船でも荒波で航行が難渋するのである。年を明けてからも京丹後市や金沢付近の砂浜などへの遭難船と遺体の漂着が後を絶たない。海上保安庁の発表では、2017年はこうした漂着船が104隻にのぼるとい

う。小さく簡素な構造でしかも古い木造船での航行や操業は極めて厳しく、結果として多くが遭難したものである。生活の糧を得るために命懸けの操業の結果、遭難・漂着したものである。



こうした中、漁船員であることが疑う余地はそもそももない彼らが「北朝鮮工作員」としてマスコミで連日のように取り上げられたのが、北海道松前小島での「発電機窃盗事件」である。だが長く海上生活経験した私はそうした報道への強い違和感を覚える。荒波に翻弄されながら、舵の故障した船内で、死を覚悟しながら幾夜となく過ごした船員の心情を想像したことがあるだろうかと思う。彼らにとって粗末な避難小屋とはいえ天国であったであろう。暖かい部屋で暖をとり、食べるように眠ったであろう。目覚めて小屋に残されていたメシを食い、酒を飲んだであろう。そのことを誰が責められるだろうか。乗組員には病人もいて一刻も早く故郷の港へ、家族の元へ帰りたいと思ったであろう。そのためには時化で傷んだ船体や舵の修理が欠かせず、溶接には発電機が必要だったであろう。報道では、「発電機は長く使われた様子がなかったから船の修理に持ち出した」と船長が供述したという。私がカン船長の

立場なら同じ事をしただろう。発電機の盗難について朝鮮総聯が弁償することで代理人が松前漁協へ赴いたが、漁協側は「筋を通す、窃盗罪は譲れない」として交渉は決裂した。大騒ぎになったこの事件だが、3月27日函館地裁で裁判長はカン・ミョンハク船長に対して「悪質で被害も高額にのぼっているが、犯行を認め反省の意を示している」として猶予判決を言い渡した。船長は「事前に計画した犯行ではなかったが、ご迷惑をお掛けした関係者へ心より謝罪したい」と陳述したという。結核で札幌市内の病院で入院中の乗組員1名を除き全員が強制送還されることで決着した。(3月27日・毎日新聞)

だが依然私には大きな疑問が残る。松前小島で漂流船を保安庁のヘリが上空から発見したのは11月28日だが起訴内容では発電機などの窃盗があったのは11月10日-28日と伝えられる。(12月29日、毎日新聞)。したがって早い時期から海保や警察は遭難救助をせずに監視し漁船員たちが「何かをしでかす」のを待っていた疑いが濃厚である。われわれ船員は、UNCLOS 条約(1982年の海洋法に関する国連条約)により、他の遭難を知った場合は「遭難者のもとへ全速力で向かう」ことが求められている。同時に船員法14条で「船長は他船または航空機の遭難を知ったときは、人命の救助に必要な手段を尽くさなければならない」とされ、これには罰則がつく。更に「海上における捜索及び救助に関する国際条約」(SAR条約)が適用される。この条約の勧告に基づき、沿岸国同士でSAR協定を結び海難救助体制を確立しなければならない。これらの国際法の基本になるのはブラッセル条約であり、そこには「たとえ敵国人であっても、海上で生命の危険にさらされている全ての者を救う義務を負う」とされる。沿岸国へ漂着した漁民を放置し、又は領海外へ押し

戻す事は、明確に国際法違反である。

木造船漂着で先ず「武装難民の可能性」にふれたのが、麻生副総理である。11月23日の宇都宮での講演で「朝鮮半島からの大量の難民が押し寄せてくる可能性がある。武装難民かもしれない。警察で対応するのか、自衛隊の防衛出動か。射殺するのか」と述べた。11月29日の横浜講演で「工作員の可能性」に言及したのが菅官房長官である。12月9日には「軍所有の船が漂着している」との認識を示し、その上で「警察、自衛隊、海上保安庁が連携しながら、工作員とかいろいろな可能性があるから徹底した取り締まりを行っている」と強調した。北海道松前町の無人島に接岸した木造船の乗組員が、島の避難小屋にあった発電機を盗んだとして逮捕されたことについては「上陸している色々な物を持ち去ろうとしている。まさに窃盗罪にあたる。その意図を

含めて徹底して聞き取り調査をしている」と述べた。北脅威論が煽られた結果、2月23日には朝鮮総聯本部が右翼団体の2名によって発砲される事件が起きる。攻撃対象が朝鮮総聯なら何をしても良い、といわんばかりである。

遺体が漂着した場合、2年前の青森下北・牛滝漁港では手厚く火葬され寺院が引き取り、その後に朝鮮側に引き取られていったという。だが今は「漁民か武装難民か分からず言葉も通じない人と海上や海岸で出くわすのが怖い」と沿岸住民の反応も様変わりした。本日、4月27日は南北首脳会談が行われる歴史的な日である。「平和共同宣言」が謳われる可能性が高い。「国難」が煽り立てられ、われわれひとりひとりが朝鮮の労働者や庶民を等身大に見る目を失うなら、この国は世界が平和へ向かう流れの中でも「蚊帳の外」であり続けるほかはない。

編集後記：

『君たちはどう生きるか』の漫画本が200万部を超え、まだ伸びているようで驚いています。蟹工船ブームの再現ですね。5月のユニオン学校でこの本を主題にした読書会をおこなうことにしました。

進行・解説を引き受けてくださった小野さん（元小学校教員）は「読書会をいい機会に、ぜひ読んでから参加したほうが楽しいと思います。読書会の後に読むのもありでしょう」と多くの方（世代）に参加を呼び掛けています。

アメリカが仕掛けたイラク戦争は姿を変えながらイラク、シリア、アフガニスタンで一層の混迷を

深めています。日々続く悲劇の裏で兵器産業が潤い、安倍政権もこの道を習おうとしているのでしょうか。若者が格差の脱出をかけて自衛隊に流れ込む道が広がる心配が現実のものになるようとしています。

世代を問わず不安感が広がる時代、ユニオン学校は仲間づくりに役立つ場を目指し毎月開催を続けてきました。

編集メンバーは『結』を地域の様々な運動の結び役に育てることを「夢想」しています。みなさまの感想をお待ちしています。(C)

【当面の日程】

- 5月：◆17日（木）15時～ 「働き方改革法案」を廃案に！全国キャラバン名古屋 栄
16時30分～ 「働き方改革法案」を廃案に！全国キャラバン名古屋 名駅東口
◆19日（水）13時30分～ 労問研第3回定例研究会
◆21日（月）13時20分～ 中部電力新入社員労災認定裁判 名古屋地裁
◆22日（火）18時30分～ 5.22 労働法制改悪反対集会 栄ガスビル・キングルーム
◆28日（月）11時～ 市バス山田裁判 名古屋地裁
◆29日（火）13時30分～ ティーエヌ製作所 労災認定裁判 名古屋地裁
6月：◆12日（火）14時～ 第一交通裁判 名古屋地裁（解雇）
◆13日（水）16時～ 日興サービス 直接雇用裁判 名古屋地裁

■□ 事務局連絡先 □■

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-3
労働会館本館306号 健康センター内
Tel&(fax) : 052-883-6966(6983)
メール : sfl7wtka@tg.commufa.jp

1部 100円

本年度の会費・カンパ
の振込をお願いします

振込先

郵便振込

口座番号：00820-7-169123

ユニオンと連帯する市民の会

お願い！ 原稿、感想、情報、意見をお寄せ下さい。